

# 大 中 PRIDE



大津町立大津中学校  
生徒指導通信 17号

令和6年1月18日(木)

文責：岡村 康平

## かけがえのない『命』～今、生きていること～

『生まれてきてくれてありがとう』

ありがとう  
生まれてきてくれて

ありがとう  
病気をしたとき  
いっぱい、いっぱい  
心配させてくれて

ありがとう  
多くの出逢いを  
プレゼントしてくれて  
そして楽しい思い出  
いっぱいくれて

ありがとう  
生きる意味  
考えるチャンスを入れて  
全ての命がいとおいと  
感じさせてくれて

ありがとう  
お父さんとお母さんが  
出逢ったこと  
間違いじゃないって  
気づかせてくれて

ありがとう  
こんな私に  
子育てさせてくれて  
あなたをこんなに  
愛させてくれて

ありがとう  
こんな私に  
子育てさせてくれて  
あなたをこんなに  
愛させてくれて

ありがとう  
教室の中の  
こともたちの苦しさ悲しさ  
いっぱい教えてくれて

ありがとう  
『やさしい心が一番大切だよ』  
の言葉を残していつてくれて  
そしてこの言葉を  
伝える人生をくれて

ありがとう  
十五年と七ヶ月  
私と生きてくれて  
いつかまた逢える  
楽しみをくれて  
お母さんそれまで  
頑張って生きるよ

ありがとう  
ありがとう  
ありがとう

言い尽くせない  
たくさんのありがとう  
でもゴメンネ  
守りきれなくて

ありがとう  
ありがとう  
ありがとう

全てのこともたちへ  
生まれてきてくれて  
ありがとう

小森美登里

上の詩は、ある母親が15歳で亡くなった我が子(娘)に向けて書かれたものです。「ありがとう」という言葉が、たくさん書かれています。皆さんはどんな感想を持ちましたか？

13、14、15年前にこの世に「生」を授かった皆さん。お母さんのお腹の中ですくすくと成長し、生まれてきたのです。あなたのお母さんが陣痛と闘いながら必死の思いで、命がけで産んでくれたから、今のあなたがあります。そして、「こんな人になってほしい」という思いを込めて名前を付けられました。夜泣きするあなたを寝ずにあやし、ハイハイした、つかまり立ちした、自分の足で立って歩けるようになった、言葉を覚えた…。我が子の成長を心から喜び、愛情いっぱい育ててこられたのです。言い争うこともあるかもしれませんが、しかし、あなたが生きているだけで、涙を流しながら喜ぶ人がいるのです。

2024年、年が明けてから、「能登半島地震」や「日本航空516便衝突炎上事故」が起きました。「能登半島地震」においては、多くの命が奪われ、今も行方不明の方がいらっしやるとのこと。先日のニュースでは、妻と子ども3人を失ってしまった男性がおり、能登半島地震の悲惨さを報道していました。今、生きている私たちには何ができるでしょうか…。

今の世の中は、人の「命」をないがしろにする行為、事件が後を絶ちません。人に向かって平気で「死ね!」と言ったり、傷つけたりする人がいます。言うまでもなく、「命」はたったひとつしかありません。かけがえのないものです。自分の「命」もそうですが、人の「命」も大切にしてほしいです。そして、親にとって子どもの「命」は、自分の「命」よりも尊いものであるということを胸にとめておいてほしいと思います。

今、あなたが生きていることは本当に尊い。